

科目名	学年	期別・授業形態・単位数	教員名 尾上亮介 研究室 A棟3階 (A-306) 内線電話 8963 e-mail: onoe@maizuru-ct.ac.jp
設計演習 Design exercise	2	後期・演習・2単位	授業 (30時間) + 自己学習 (60時間) = 標準 90時間の学習時間
			科目到達レベル: <input type="checkbox"/> 1. 知識・記憶 <input type="checkbox"/> 2. 理解 <input type="checkbox"/> 3. 適用 <input type="checkbox"/> 4. 分析 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 評価 <input type="checkbox"/> 6. 創造
【授業目的】 公共建築の設計案の制作を通して、設計条件の分析、集合住宅の機能、寸法、空間構成、構法、製図法、プレゼンテーションなどについて学ぶ。			
【Course Objectives】 1. Skills for design of housing space 2. Skills for presentation and drafting			
【到達目標】 1. 公共建築のコンセプトを企画することができる。 2. 公共建築の設計ができる。 3. 公共建築の図面が描ける。 4. 公共建築の模型が作れる。 5. 提案内容を発表できる。			
【学習・教育到達目標】 (C) 修得した知識を統合して、社会に貢献できる製品やシステムを設計し開発する創造能力と意欲を有する。 (H) コンピューターをはじめ、実践に必要なスキルと最新の工学ツールとを活用することができる。			
【キーワード】 建築計画、建築設計、公共建築設計 Architectural plan、Architectural design、 Public building design		【授業時間】 2時間 (90分) × 15週 = 30単位時間 (22.5時間)	
【授業方法】 演習形式で毎週進行状況と内容を確認しながら進める。		【学習方法】 建築雑誌や建築作品集に掲載された実作品の設計意図を理解するように心がけ、設計製図などに応用すること。また、設計演習の理解を深め、応用力を養うために毎回、演習課題を含め4時間程度の自己学習を義務付け、課題は次回の授業時に確認を行う。	
【履修上の注意】		【科目の位置付け】 1. 先行して履修すべき科目 建築計画Ⅰ 建築計画Ⅱ 建築環境 建築構造 建築設備 建築デザイン 2. 後で履修する関連科目 3. 同時に履修する関連科目	
【定期試験の実施方法】 定期試験は行わない。提出物による。			
【成績の評価方法・評価基準】 提出作品 (図面、模型、パース等) + プレゼンテーションで総合評価を行う。企画力、設計、製図、模型製作、提案書作成に関する到達度を評価基準とする。			

【教科書・教材等】

配付資料による

【参考書・参照 URL 等】**【授業計画】**

週	内 容	到達目標	教科書参照ページ
第1週	公共建築の設計課題出題と解説 演習課題 敷地調査、設計条件調査	1	
第2週	設計案の立案とチェック①設計条件の整理 演習課題 エスキース	1	
第3週	設計案の立案とチェック②コンセプトの抽出 演習課題 エスキース	2	
第4週	設計案の立案とチェック③配置計画 演習課題 エスキース（平面計画）	2	
第5週	設計案の立案とチェック④平面計画 演習課題 エスキース（断面計画）	2	
第6週	設計案の立案とチェック⑤断面計画 演習課題 エスキース（立面計画）	2	
第7週	設計案の立案とチェック⑥インテリア計画 演習課題 エスキースまとめ	2	
第8週	設計案の立案とチェック⑦工法計画 演習課題 作図	2	
第9週	CADによる平立断面図作成① 演習課題 作図	3	
第10週	CADによる平立断面図作成② 演習課題 作図	3	
第11週	CGによるパース製図 演習課題 模型	3	
第12週	模型製作① 演習課題 模型	4	
第13週	模型製作② 演習課題 プレゼン作成	4	
第14週	プレゼンテーション作成 演習課題 製作まとめ	4	
第15週	計画案の発表と講評	5	
★定期試験			
定期試験返却・到達度確認			

【学生へのメッセージ】

公共建築を様々な角度から考え、コンセプトを導き出し、設計に結びつけてください。これまで学んできた建築計画を設計に活かしてください。